

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：関東土質試験協同組合

◎北海道土質試験協同組合 ◎協同組合土質屋北陸 ◎関東土質試験協同組合 ◎中部土質試験協同組合
◎協同組合関西地盤環境研究センター ◎協同組合岡山県土質試験センター ◎協同組合島根県土質技術研究センター
◎協同組合広島県土質試験センター ◎宮崎県地質調査業協同組合

ジオ・ラボ ネットワーク事務局からのお知らせ

※ジオ・ラボ ネットワーク 経営懇談会定例会開催報告

*開催日時：平成28年6月10日(金) 14時~17時 *開催場所：全地連会議室

*出席者：全地連2名 各組合出席者16名 合計18名

*議題：①各協同組合の平成27年度決算及び運営状況について②ジオ・ラボネットワークの運営について
③全地連からの連絡事項について

北海道土質試験協同組合

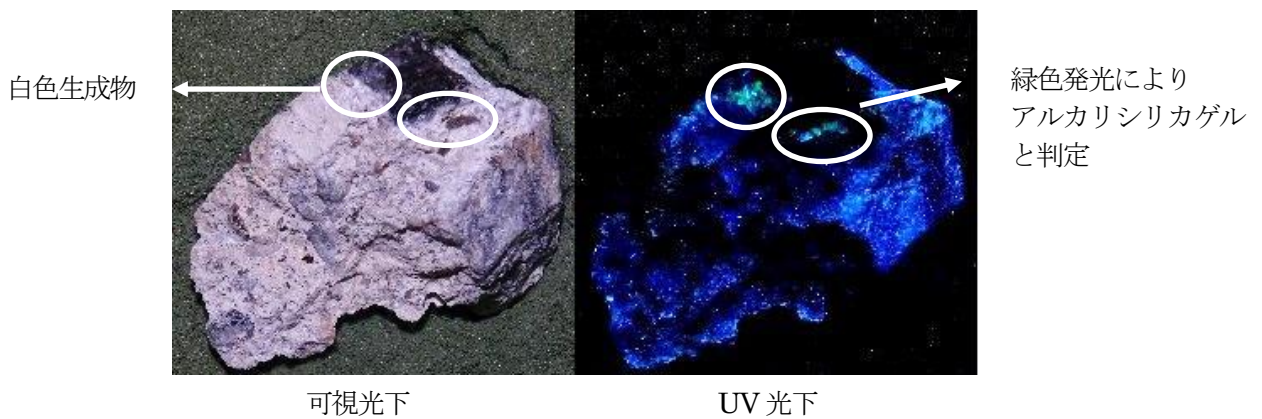
mail to : hsrc@src.or.jp

◇ASR 簡易診断装置を導入◇

既設構造物の劣化診断、耐震診断を目的とした硬化コンクリート試験を実施している当組合では、この度アルカリシリカ反応(ASR)簡易診断装置を導入いたしました。

ASR による劣化が疑われる構造物から採取したコア試料や、現場に剥落したコンクリート片に発生している白色生成物が、アルカリシリカゲルであるかどうかの判定が短時間に低コストで可能です。

白色生成物がアルカリシリカゲルであった場合、特殊試薬の塗布と紫外線の照射により、緑色に発光します。ただし、骨材の岩種・構成鉱物の鑑定や、ASR の進行度を推定するには、目視観察では確認が困難な詳細情報が必要となり、偏光顕微鏡観察や粉末X線回折、促進膨張試験を実施する事になります。(文責 金谷哲也)



協同組合土質屋北陸

mail to : info@doshitsuya.or.jp

5月20日、6月24日、7月22日、8月19日の4回にわたり、人材教育セミナーと題してコミュニケーションとリーダーシップを主催いたします。今回は、組員12,000円、員外15,000円の有料セミナー。1回目は「アイデアがサクサクで会議のやり方」2回目は「プレゼン大学」。参加者からは「目からウロコ」「初耳学」と興味津々の様子でした。あと2回あります。この企画は、今まで受けたセミナーの中で、「これは組員様のためになる」と思えた講師4名です。参加者は組員企業から14名、員外及び一般より3名の合計17名の参加です。

ぜひ、人材⇒人財、つまり会社の財産となっただけであれば、私ども主催者としても幸せです。



◇第39回通常総会開催◇

平成28年5月27日16時から組合委員31社(含委任状)が出席して、池袋のリビエラ東京で開催されました。平成27年度事業報告・決算案、平成28年度事業計画・予算案等原案どおり承認されました。

平成27年度は今までにない大変厳しい1年で受注高、完工高共に大きく予算を下回りましたが、平成28年度こそ計画に掲げた1億5,500万円を達成するため組合員各位からのご要望に最大限応えるよう努めて参ります。

◇第10回室内土質試験研修会開催◇

5月30日～6月2日にかけて、「第10回室内土質試験研修会」が5社8名の皆さんの参加を得て開催されました。

土質試験を体験して頂くということで、基本的な試験のみを対象としています。参加される方々は必ずしも新入社員ばかりではありません。既に第一線で業務をこなしている方もいて、現在の研修会では満足できないところもあるかもしれません。組合としても次の段階として、更に専門的に一つの試験に特化した研修会が必要では、と思うこの頃です。土質試験を必要とされる皆様の御要望にお応えするべく技術研鑽に努めてまいります。
(技術部・木本 仁)



◀ 一番難しい? 液性限界試験

中部土質試験協同組合

mail to : info@geolabo-chubu.com

地盤調査作業、物理探査～室内土質試験見学会を開催しました。

(1) 主催：地盤工学会中部支部

平成28年4月22日(金)に、主催：地盤工学会中部支部 共催：中部地質調査業協会、中部土質試験協同組合で、参加者：84名、場所：中部土質試験協同組合で開催いたしました。今回は、中部圏以外の関西からの参加者や建設コンサルタントからの参加者もありました。

見学会開始にあたり、セミナー部会の前田健一委員長(名工大教授)から、「ボーリング作業・物理探査作業に関しては、テキストではなかなかその詳細を把握できないことから、この現場作業を実際に見て、学習して欲しい」との開会の挨拶がありました。なお、地盤材料試験の見学では、ディスプレイを用いた解説が非常に解り易いとの評価を頂きました。



(参加者全員集合)

(2) 主催：三重県建設技術センター

同じく6月3日(金)には、同様な内容にて、三重県職員、市町職員(32名参加)対象にも見学会(主催：三重県建設技術センター、共催：三重県地質調査業協会、後援：三重県県土整備部)を開催しました。ここでは、全地連HPに掲載されている「地質調査作業、土質試験ビデオ」に関する紹介がありました。



(ディスプレイを用いた動的試験の解説)

(3) 通常総会における役員改選報告

役員改選がなされ、役員7名全員重任致しました。坪田邦治(員外)が、継続して理事長を務めさせて頂くこととなりました。この2年間、組合を通じて社会貢献できるように尽力したいと思います。
(文責：坪田 邦治)

・土質試験見学会開催報告

6月16日(木)、昨年に引き続き、第2回の土質試験見学会を開催致しました。

本見学会は組合員のみならず、組合員外の企業の方にもセンターの事を知ってもらうために、昨年から実施しております。

本年度は梅雨空の雨の中、50数名の方にご参加頂きました。厚くお礼申し上げます。

見学会は最初に参加者一同が3階会議室に集合し、4グループに分かれ、第一部：試料の観察、物理試験、力学試験、材料試験の4つの試験項目について見学して頂きました。次に第二部：実際に供試体成形と一軸圧縮試験、液性限界・塑性限界試験、材料試験の体験コースと動的三軸試験、岩石試験の見学コースに分かれて体験及び見学して頂きました。

第三部、参加者とセンター職員、又、参加者同士の親睦を深めるために交流会を開催し、日頃の疑問に思っている事など、活発な意見交換の場となりました。

今後もこのような見学会等、組合員のニーズにあったものを企画して行きたいと考えておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。
 (森 辰義 記)

協同組合岡山県土質試験センター

mail to : info@okayama-soil.or.jp

・通常総会の開催

平成28年5月13日(金)に通常総会が開かれ、全ての議案が満場一致で可決承認されました。また、田井克彦課長代理の勤続20年の表彰が行われ、小谷裕司理事長より表彰状と金一封が授与されました。



・全自動三軸圧縮試験機 (ハイマルチII (株)マルイ製) の導入

当組合ではハイマルチIIに続き、ハイマルチIIを導入し、6月より稼働しています。ハイマルチIIの導入により、今まで以上に標準三軸圧縮試験を数多くこなすことが可能になりました。



・(公財)岡山県建設技術センターに講師派遣

H28年度土木工事の施工管理【試験編】(初級)〔県・市町村職員〕

「土質試験」について、当センターから原田正明事務局長を講師として派遣します。また、研修会を当センターの試験室で行い、当組合の職員がそれぞれ試験の説明を行います。

(総務課 西見 美穂)

協同組合広島県土質試験センター

mail to : office@hiroshima-soil.jp

(1)第34回通常総会が開催されました

平成28年5月25日、ひろしま国際ホテルにおいて理事・組合員10名(書面出席を含め15社)出席のもと通常総会が開催されました。大畑理事長が議長に就任し、審議の結果下記の議案などが承認されました。

- ・平成27年度事業報告及び決算承認の件
- ・平成28年度事業計画及び予算案承認の件

平成27年度の売上目標3,400万円に対し、年間売上3,080万円(計画比90%)と伸び悩んだ上、4連式三軸圧縮試験機等を導入するなど、平成27年度を初年度とする中期設備更新計画を開始したことから収支はマイナスに転じました。平成28年度は売上目標を3,200万円とし、投資効果が反映されるよう、一層の努力をして参りたいと思います。

(2)理事長が交代しました

総会后、第3回理事会が開催されました。平成19年度から理事、平成23年度からは5年に亘って理事長を務めて来られた大畑理事が辞任され、藤原哲宏理事(中国地下工業株式会社)が新理事長として選任されました。

大畑理事には、開設以来33年ぶりとなる建物のリニューアルや設備更新など当センターの発展のために様々な方面でお力添えを頂きました。今後、新理事長のもと一層の業務の充実を目指していこうと職員一同決意を新たにしているところです。

(文責:岩城 基子)